

平成二十一年度 冬季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「冬」

期間 平成二十一年十一月一日～平成二十二年一月末
投句数 一、七六六句

特選三句

天

国宝の鐘が鳴るなり初時雨

神奈川県横浜市青葉区 山下省三

地

初詣よりも初富士途中下車

神奈川県藤沢市 近藤拓

人

暗き世の仕切直しや除夜の鐘

東京都杉並区 稲垣克巳

入選句

一般の部

紅葉散る作務衣の僧の竹箒

千葉県野田市

稲垣恵子

しぐるるや駆け込み寺に男傘

新潟県柏崎市

大塩千代

節料理由来を語り卓楽し

東京都世田谷区

大津三典

大仏を仰げば深し初御空

神奈川県平塚市

小野寺信雄

何か運むいてきそうな小春かな

愛媛県宇和島市

加賀城邦洋

美しく老いんと思ふ去年今年

東京都練馬区

勝田剛史

初富士や白浪立ちて由比ガ浜

神奈川県鎌倉市

金井千恵子

静けさや鎌倉山の初景色

神奈川県平塚市

斎藤正健

鎌倉の日差し斜めに寒牡丹

神奈川県逗子市

佐藤信子

露座仏に陽ざしこぼるる冬の梅

神奈川県横浜市都筑区

菅原文子

賽投げる手許狂ふも屠蘇の酔

東京都町田市

竹内弘

宿坊のけんちん汁や初時雨

神奈川県鎌倉市

土山忠滋

垣間見る虚子の旧居の冬椿

神奈川県横浜市泉区

出射恵美子

霜柱そぞろ歩きの谷戸の道

愛知県名古屋市

西山秀夫

冬麗文学館で読む手紙

神奈川県藤沢市

橋本千鶴子

風の色瀬音の響き春近し

千葉県船橋市

前原慶輔

すつきりと刈られ水音の寒々と

神奈川県横浜市旭区

柳沢栄蔵

こがらしが大梵鐘の音奪う

神奈川県横須賀市

山口義一

こころざしまげることなし冬木立

神奈川県横浜市栄区

葭谷健一

お飾りの瑞穂ついでむ雀かな

東京都大田区

山田隆紀

(順不同)

入選句

子どもの部

大仏様あなたは風邪をひかないの

東京都江東区

遠藤光

人力車落ち葉ふみつつ古都まわる

神奈川県平塚市

牧野瑠香

座禅組み北風たえる大仏様

神奈川県平塚市

秀島さくら

よるのほしつめたいかぜをたえている

神奈川県鎌倉市

南香蓮

山道を枯葉をけって歩いてく

千葉県千葉市

石川つばさ

鎌倉のとてもきれいな冬紅葉

千葉県千葉市

鎗本真純

年の暮しかし江ノ電いそがない

埼玉県さいたま市

鹿野健人

半僧坊巨大な羽が師走呼ぶ

埼玉県さいたま市

松本奈緒子

冬紅葉歴史あふれる鎌倉に

東京都大田区

尾島楓

枯葉道思い出たくさんよみがえる

東京都大田区

山田彩華

(順不同)